

小学校英語活動 15

15 生まれた日は何曜日だった？

15 トピック 月・曜日

活動名	生まれた日は何曜日だった？
活動のねらい	・ 月、曜日を表す単語を聞き取ろうとしたり、言おうとしたりする。
取りあげる英単語	month (月) birthday (誕生日) Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday Sunday (月・火・水・木・金・土・日曜日) ※曜日を表す英語については、すでにある程度は慣れ親しんでいるという前提でこのトピックの活動を行います。 January February March April May June July August September October November December (1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12月)
取りあげる英語表現	What month is this? (これは何月ですか。) My birthday is ~. (わたしの誕生日は~です。) Who was born in ~? (~月生まれはだれですか。) I was born on ~. (~曜日に生まれました。) How about you? (あなたはどうですか。)
準備するもの 付	・ カレンダー ※付録 CD の「万年カレンダー」を活用してください。 児童の生まれ年のカレンダー(該当する年度の4月~3月)を出力します。 活動に適した大きさを用意してください。 担任 (ALT) の生まれ月のカレンダーも1枚用意しておきます。
活動内容/活動の流れ	
<p>カレンダーを使って、「月」、「曜日」を表す英語表現に慣れ親しませる活動です。</p> <p>各月のカレンダーを1枚ずつ児童に示しながら、月を表す英語を言っていく。 ※万年カレンダーには月名を表す数字が書かれていませんので、イラストをヒントにそれが何月のカレンダーなのか児童に考えさせます。無作為な順番で各月のカレンダーを提示し、確認が済んだものから黒板にはっていきます。黒板にあらかじめ日本語で「1月」~「12月」と書き、はる位置を示しておくとうわかりやすいでしょう。</p> <p>自分の生まれ月の英語名に関心を向けさせる。また、何曜日生まれなのかを、カレンダーを見て児童に確かめさせる。 ※児童が見やすい位置にカレンダーを移動させるか、余分に1セット用意して別の場所にも張り出すとよいでしょう。</p> <p>同じ月または同じ曜日生まれの友だちをさがす。 ※手のひら程のサイズのカードを用意して配り、自分の生まれ月の数字と曜日を書かせます。(日本語でよい。) できるだけたくさんの友だちに話しかけて、同じ月または曜日生まれの人をさがします。見つけたら、カードの余白にその友だちのサインをもらいます。</p>	

こんな英語表現も取りあげることができます

カレンダーを利用した活動で次のような表現を取りあげることもできます。

<曜日・日付に関する応答表現例>

What day is today? — It's Monday.

(今日は何曜日ですか。 — 月曜日です。)

What's the date today? — It's May 7.

(今日は何日ですか。 — 5月7日です。)

<週や月の日数に関する応答表現例>

How many days are there in a week? — There are 7 days in a week.

(一週間は何日ありますか。 — 7日です。)

How many days are there in July? — There are 31 days in July.

(7月は何日ありますか。 — 31日です。)

<国民の祝日に関する応答表現例>

November 3 is a national holiday. — We have no school.

(11月3日は国民の祝日です。 — 学校はありません。)

What national holiday is it? — It is Culture Day.

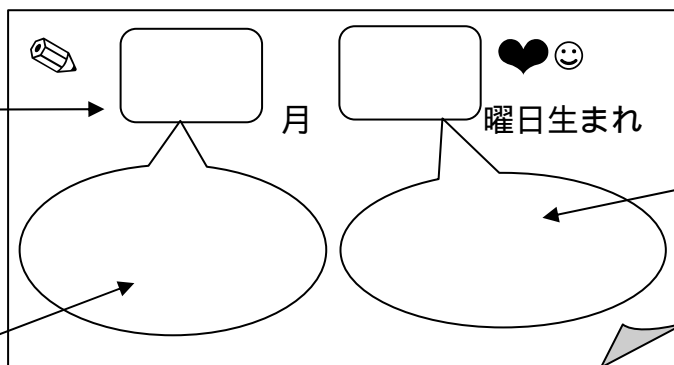
(何の祝日ですか。 — 文化の日です。)

ここで使えるカードの例

活動内容 (左ページ) の において、児童が用いるカードの一例です。





☆自分が生まれた月と曜日を書きます。

☆同じ月生まれの友だちのサインを書きます。



☆同じ曜日生まれの友だちのサインを書きます。

15 トピック 月・曜日

活動の流れ	担任 (ALT) の動き スクリプトとして活用してください。
①各月のカレンダーを1枚ずつ児童に示しながら、月を表す英語を言っていく。	<p>【1】 「桜の木」のイラストがある4月のカレンダーを見せて Look at this calendar. You see cherry trees. (このカレンダーを見てください。桜の木が見えますね。) What month is this? (これは何月ですか。) Yes. This is April. (そう。4月です) </p> <p>※ほかの月のカレンダーについても同様に英語名を言っていきます。</p>
②自分の生まれ月の英語名に関心を向けさせる。また、何曜日生まれなのかを、カレンダーを見て児童に確かめさせる。	<p>【2】 ◎黒板の8月のカレンダーを指しながら My birthday is August 10. (私の誕生日は8月10日です。) I was born in August. (私は8月生まれです。) How about you? (あなたたちはどうですか。) ◎4月のカレンダーを指しながら Who was born in April? Raise your hand.  (4月生まれの人はだれですか。手をあげてください。) ※順番にカレンダーを指しながら5月以降についても同様に問いかけていきます。</p> <p>【3】 担任 (ALT) が自分の生まれた年・月 (この例の場合は1975年) のカレンダーを見せて Look at this calendar. (このカレンダーを見てください。) I was born in August. I was born on August 10. It was Sunday. I was born on Sunday. (私は8月に生まれました。8月10日、日曜日生まれです。) How about you? (あなたたちはどうですか。) ◎掲示してあるカレンダーの方へ手招きして Come here and look. (ここへ来て見てみましょう。) </p>
③同じ月または同じ曜日生まれの友だちをさがす。	<p>児童にカードを配った後、担任 (ALT) が自分のカードを手を持って生まれ月の数字と曜日を書き込む。(日本語でよい。)</p> <p>【4】 I was born in August, on Sunday. (私は8月の日曜日生まれです。) How about you? August? No. Sunday? Yes! Please write your name.  (あなたは? 8月? 違うのですね。では日曜日? そうですか! 名前を書いてください。) ※数人の児童に尋ね、August または Sunday のいずれかが同じ場合はお互いのカードにサイン (日本語でよい。) し合うところを実演して見せます。 ◎児童が自分のカードに生まれた月と曜日を記入するのを待ってから Now ask your friends. (さあ、友だちに尋ねましょう。) ◎尋ね終わったら、相手に Thank you. というように伝える。 After you ask your friends, say "Thank you." (友だちに尋ねた後は「Thank you.」と言いましょう。)</p>

児童の活動	授業の進め方
<p>イラストを手がかりに、何月のカレンダーなのか日本語で答えていく。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>🔊の箇所でCDをとめて、英語(または日本語)で進めてください。</p> </div> <p>🔊 示す順は無作為でも、黒板にはる時には、月の順番になるように並べていきます。</p>
<p>月を表す英語名、特に自分が生まれた月の英語名に注意を向ける。</p> <p>担任 (ALT) の問いかけに手をあげて反応する。</p> <p>担任 (ALT) の説明を聞いた後で、自分の生まれた月のカレンダーの所まで行き、何曜日生まれなのか確かめる。</p>	<p>🔊 問いかけていく際には、手をあげた児童の数についてコメントするなど、月名の英語をできるだけ繰り返して聞かせるようにするとよいでしょう。</p> <p>例 Who was born in June? Three people were born in June. (6月生まれの人は3人ですね。)</p> <p>🔊 カレンダーを見ている児童のそばで、月・曜日の英語を言ってあげるとよいでしょう。</p> <p>例 January, Monday? (1月の月曜日なの?)</p>
<p>担任 (ALT) にならって、カードに自分の生まれた月の数字と曜日 (日本語でよい。) を書く。</p> <p>カードと筆記用具を持って、自分と同じ月または曜生まれの友だちをさがす。見つけたらカードにサインし合う。サインをしてもらったら、その相手に“Thank you.”と言って、次の友だちのところへ行く。</p> <p>例 児童 1: September? Friday? (9月?金曜?) 児童 2: Friday? Yes! (金曜?そうだよ!)</p> <p>児童 1: Thank you.</p>	<p>🔊 児童が、自分から進んで話しかけようとする、また、友だちからの問いかけに答えようとする意欲をもてるように、励ましの言葉をかけましょう。</p> <p>例 Nice try! Good job! Try it again!</p> <p>※児童が、自分の言うべき月・曜日の英語名がわからなくなった時に、担任 (ALT) や友だちに助けを求めやすい雰囲気を作っておきましょう。</p>